2020年12月10日

各　　位

東京都港区虎ノ門四丁目1番 28 号
日本通信株式会社
代表取締役社長　福田　尚久
（コード番号：9424）
問合せ先　広報室長　堀江　祐子
電話 03-5776-1700

日本通信、ドコモの新料金への対抗プランを本日12月10日より発売開始

日本通信株式会社（以下、「当社」という）は、ドコモの新料金への対抗プラン（コードネーム：SSDプラン）（詳細は、2020年12月4日公表の「日本通信、ドコモの新料金への対抗プラン投入を決定「MVNO潰し」ではないかと言われているドコモの新料金に対してMVNOの代表として対抗プランを1,980円で投入」をご参照ください）を発表のとおり、本日12月10日より提供開始いたしました。



当社ならではの「お客様にとっての合理性」を追求した料金プランとして、「合理的20GBプラン（今は16GB）」と命名いたしました。

「合理的20GBプラン（今は16GB）」は、月額1,980円［税別、以下すべて税別表記］に16GB（ただしドコモ新料金プランのサービス開始日以降は20GB）のデータ量と70分/月の通話料金が含まれています。データ容量の追加は1GBあたり250円で、ドコモahamoの半額、他携帯キャリアの4分の1。70分を超える通話料は30秒あたり10円と、携帯キャリアの半額です。

さらに、お客様ご自身で16GB（ドコモ新料金プランのサービス開始日以降は20GB）から30GBの間の1GB単位で上限設定していただくことができます。ドコモは昨日、「ギガプラン上限設定オプション」を発表しましたが、当社はこの機能を2017年から提供しており、ドコモに真似していただいたことを光栄に思います。自分にとって最適な容量のプランをつくりながらも、実際の支払いはデータ使用量に応じた分だけという合理的な携帯料金になっています。



月額基本料 1,980 円だけでも圧倒的多くのお客様にとって十分なサービススペックを実現していますが、超過料金においても、合理的で、納得感のある料金をご提示いたします。

合理的な携帯料金プランに関する詳細は以下をご確認ください。
『日本通信 SIM』ブランドサイト： nihontsushin.com

■日本通信について
日本通信株式会社は、1996年の創業時から強い信念をもってMVNOという新たな産業を生み出してきた会社です。あらゆるものがデジタル化し通信でつながる今日において、日本通信の特許技術であるモバイル専用線は、その主要システム全てにおいて国際セキュリティ基準のPCI DSS認定を取得し、警察や銀行、クレジットカード業界などの厳しいセキュリティ要件が求められる分野で採用されています。さらに日本通信は、世界最高水準のセキュリティを確保しつつも、利便性を損なわずに本人認証と取引内容の改ざん防止を可能とし、スマートフォンで安全・安心な金融取引を実現するフィンテックの共通プラットフォーム化も進めています。日本通信は今後も、チャレンジャーであり続け、安全なモバイル環境が、国境を越えた社会インフラになることを目指してまいります。

※文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。